

金属管、金属可とう管、両端に迅速継手の付いたゴム管及び強化ガスホースの規格並びに燃焼器とガス栓との接続方法を定める件（告示）等の改正について

平成 26 年 2 月 26 日
経 済 産 業 省
ガ ス 安 全 室

1. 改正の概要

ガス機器用迅速継手は、ガス栓やガス機器とガス用ゴム管等を容易にかつ確実に接続できる接続具（継手）である。また、ガスコードは、ホースの両端に迅速継手がついた接続具で、移動形のガス燃焼機器（ファンヒーター等）の接続に用いられている。

近年の消費段階のガス事故では、接続に関連する事例が一定の割合を占め、その原因としては不完全な接続や異なる接続具との接続等があげられている。

そのため、経済産業省ではガス安全高度化計画（平成 23 年 5 月）をはじめ、関連団体と連携し、ガスの安全な使用に関する啓発を行っているところであるが、一方で今回、安全性の高い接続具の普及を図るべく、関連の JIS が改正されたことから、当該 JIS を引用する告示を含めた関係法令を改正する。

2. JIS の主な改正ポイント

(1) ガス機器用迅速継手（JIS S 2135）

接続性を確保しつつ安全性の高い迅速継手の新製品設計が可能となるよう寸法規定が見直され、迅速継手の接続部に自在部を有する安全性や利便性の高い迅速継手に対応する規定が追加された。

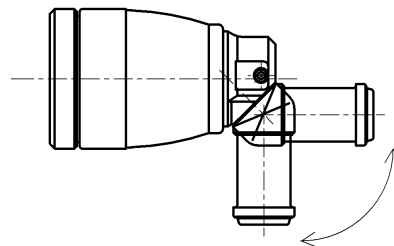


図 自在部の例

(2) ガスコード（JIS S 2146）

① JIS S 2146 は昭和 60 年に「両端迅速継手付ガス用ゴム管及び両端迅速継手付ガス用塩化ビニルホース」として制定されたが、両者とも現在は製造されていないことから削除、両者に替わり世の中に普及している「ガスコード」が追加された。

② 分かりやすい規格名称とするため、JIS S 2135 で用いられていた「両端迅

速継手付小口径強化ガスホース」ではなく、「ガスコード」に改名された。

③具体的な性能項目は、ガスコードの特徴、安全性を考慮して設定された。

主な性能項目	ガスコードの特徴、安全性
着脱作動、着脱力	着脱が安全で容易（頻繁な着脱にも対応）
気密性	機器側で外してもガス漏れしない
自在部	ガス栓側の継手部は自在型で、取り出し方向を自由に変更可能
耐切断性、耐閉そく性	鋼線入りホースで切れない、つぶれない
引抜き強度、引張強度	継手部とホース部を工場で一体加工することにより強度を確保
流量	デザイン性に配慮した小口径ホースでも、必要な流量を確保

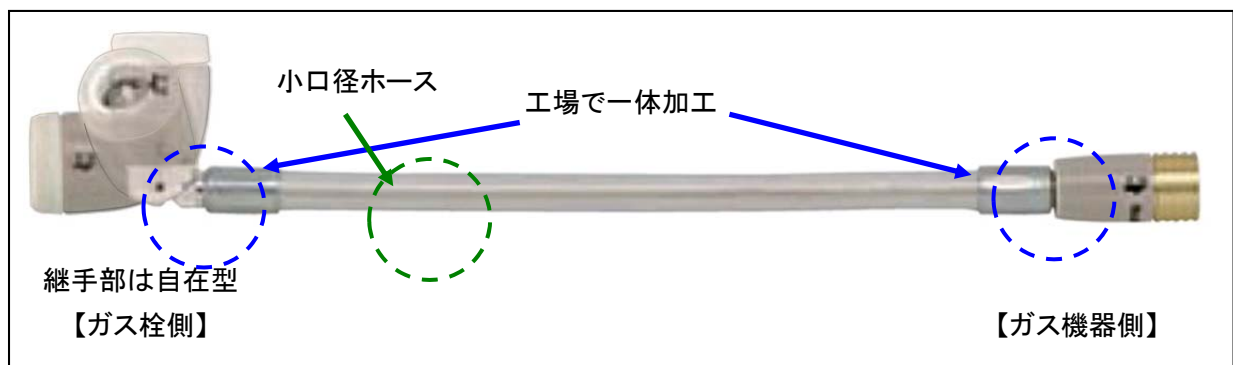


図 ガスコードの例

(3) 規格体系の見直し

JIS S 2135 と JIS S 2146 との関係性を見直し、JIS S 2135 の小口径強化ガスホース用ソケット（ガス栓側）及び小口径強化ガスホース用ソケット（ガス機器側）を JIS S 2146 に移動し、製品単位の分かりやすい規格体系とされた。

3. 告示等の改正について

告示では、継手部分の材料、構造についてガス機器用迅速継手 JIS S 2135 の規格を引用しているため、改正する。また、世の中に広く普及している安全なガスコード JIS S 2146 の規格が追加制定されたため、取り入れる改正を行うこととする。併せて材料の JIS 規格年号を見直す他、関係する法令の整備を行う。

4. 今後の予定

本日のガス安全小委員会の審査結果を踏まえ、パブコメを行った上で告示等の改正を行う予定である。